

DRUG

INFORMATION



2008 No. 13

平成20年6月17日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について.....1
ー平成20年6月5日 薬事委員会結果報告ー
2. 新規採用医薬品添付文書情報.....5
3. インスリン製剤の切替について.....8

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・中止・変更について

—平成 20 年 6 月 5 日 薬事委員会結果報告—

新規採用(試用開始)医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
グレースビット錠(シタフロキサシン水和物)	50mg/錠	広範囲経口抗菌製剤	第一三共
ムコソルバン L カプセル(アンブロキシオール塩酸塩)	45mg/Cp	徐放性気道潤滑去痰剤	帝人ファーマ
ロナセン錠(プロナンセリン)	4mg/錠	抗精神病剤	大日本住友
バラマイシン軟膏(バシトラシン、フラジオマイシン硫酸塩)	250g/個	化膿性皮膚疾患用剤	小野
ボンアルファハイローション(タカルシトール水和物)	[20μg/g] 10g/本	活性型 VD ₃ 尋常性乾癬治療剤	帝人ファーマ
オプチレイ 320 シリンジ(イオベルソール)	100mL/本	非イオン性造影剤	タイコヘルスケア
注射用サイメリン(ラニムスチン)	50mg/V	抗悪性腫瘍剤	田辺三菱
生理食塩液「ヒカリ」(塩化ナトリウム)	50mL/本	生理食塩液	光
ソナゾイド注射用(ペルフルブタン)	16μL/V	超音波診断用造影剤	第一三共
ネスブ静注用(ダルベポエチンアルファ)	20μg/1mL/本	持続型赤血球造血刺激因子製剤	キリンファーマ
ヒューマログ N 注ミリオペン(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	イーライ・リリー
ファルモルピシン注射用(エピルピシン塩酸塩)	50mg/V	抗腫瘍性抗生物質製剤	協和醗酵

採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ツムラ柴朴湯エキス顆粒	2.5g/包	漢方製剤	ツムラ
シンメトレル錠(アマンタジン塩酸塩)	100mg/錠	パーキンソン症候群治療剤	ノバルティスファーマ
ニコチン酸アミド散ゾンネ(ニコチン酸アミド)	100mg/g	ニコチン酸欠乏症治療剤	鳥居
プリモボラン錠(酢酸メテノロン)	5mg/錠	経口蛋白同化ステロイド剤	バイエル
メタルカプターゼカプセル(ペニシラミン)	100mg/錠	抗リウマチ剤・ウイルソン病治療剤	大正富山
ユーエフティ E 顆粒(テガフル、ウラシル)	[20%] 1g/包	代謝拮抗剤	大鵬
ボンアルファ軟膏(タカルシトール水和物)	[2μg/g] 10g/本	活性型 VD ₃ 角化症治療剤	帝人ファーマ
点眼・点鼻用リンデロン A 液(リン酸ベタメタゾンナトリウム、他)	5mL/本	副腎皮質ホルモン・抗生物質配合剤	塩野義
アクラシノン注射用(アクラルピシン塩酸塩)	20mg/V	抗腫瘍性抗生物質	アステラス
エルシトニン注(エルカトニン)	40 単位/1mL/A	合成カルシトニン誘導体制剤	旭化成ファーマ
ヒューマカート N 注キット(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	イーライ・リリー
ベンフィル R 注(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	インスリン製剤	ノバルティスファーマ
ミオブロック静注(パンクロニウム臭化物)	4mg/2mL/A	非脱分極性麻酔用筋弛緩剤	オルガノン

○ 院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アコレート錠(ザフィルルカスト)	20mg、40mg/錠	ロイコトリエン受容体拮抗剤	アストラゼネカ
アシビル内服ゼリー(アシクロビル)	800mg/3g/包	抗ウイルス化学療法剤	興和
アデカット錠(デラプリル塩酸塩)	7.5mg/錠	ACE 阻害剤	武田
アトック錠(フォルモテロールフマル酸塩水和物)	40μg/錠	気管支拡張剤	アステラス
アボビスカプセル(アクラトニウムナパジシル酸塩)	50mg/Cp	消化管運動機能賦活剤	大正富山
アルボ錠(オキサプロジン)	200mg/錠	持続性消炎・鎮痛剤	大正富山
インヒベース錠(シラザプリル)	0.25mg、0.5mg/錠	持続性 ACE 阻害剤	中外
ツムラ黄連湯エキス顆粒	2.5g/包	漢方製剤	ツムラ
カディアンカプセル(硫酸モルヒネ)	60mg/Cp	持続性癌疼痛治療剤	大日本住友
カルフェニール錠(ロベンザリット二ナトリウム)	80mg/錠	慢性関節リウマチ治療剤	中外
クリキシバンカプセル(硫酸インジナビルエタノール付加物)	200mg/Cp	HIV プロテアーゼ阻害剤	万有
ケフレックスシロップ用細粒(セファレキシム)	100mg/g	経口セフェム系抗生物質製剤	塩野義
サンディミュンカプセル(シクロスポリン)	50mg/Cp	免疫抑制剤	ノバルティスファーマ
ジメリン錠(アセトヘキサミド)	250mg/錠	経口血糖降下剤	塩野義
ジョサマイシン錠(ジョサマイシン)	200mg/錠	マクロライド系抗生物質製剤	アステラス
シロスレット内服ゼリー(シロスタゾール)	100mg/3g/包	抗血小板剤	ゼリア
スピロピタン錠(スピペロン)	1mg/錠	統合失調症治療剤	エーザイ
スプレンジール錠(フェロジピン)	2.5mg/錠	Ca 拮抗剤	アストラゼネカ
スロービッドカプセル(テオフィリン)	100mg/Cp	キサンチン系気管支拡張剤	サント
セパミット細粒(ニフェジピン)	10mg/g	Ca 拮抗剤	オルガノン
セフspan細粒(セフィキシム)	50mg/g	経口用セフェム系製剤	アステラス
セロシオンカプセル(プロパゲルマニウム)	10mg/Cp	B 型慢性肝炎治療剤	三和化学
デタントール R 錠(ブナゾシン塩酸塩)	6mg/錠	α ₁ 遮断降圧剤	エーザイ
ドバゾール錠(レボドパ)	200mg/錠	パーキンソンニスム治療剤	第一三共
トロペロン錠(チミペロン)	3mg/錠	抗精神病剤	第一三共
経口用トロンピン細粒(トロンピン)	2 万単位/2g/包	上部消化管用止血剤	持田
ノルペースカプセル(ジソピラミド)	100mg/Cp	抗不整脈剤	ファイザー
パシフラミン錠(パシフロラエキス)	30mg/錠	植物性鎮静剤	マルホ
バソメット錠(テラゾシン塩酸塩水和物)	1mg/錠	持続性 α ₁ 遮断薬	田辺三菱
ブリカニール錠(硫酸テルブタリン)	2mg/錠	気管支拡張剤	アストラゼネカ
フルカムカプセル(アンピロキシカム)	13.5mg/Cp	鎮痛・抗炎症剤	ファイザー
プロピタン錠(ピパンペロン塩酸塩)	50mg/錠	ブチロフェノン系精神分裂病治療剤	エーザイ
ペルジピン錠(塩酸ニカルジピン)	10mg/錠	Ca 拮抗性降圧剤	アステラス
ベントナ錠(塩酸マザチコール)	4mg/錠	薬剤性パーキンソン症候群治療剤	田辺三菱
マグコロール液(クエン酸マグネシウム)	250mL/本	大腸検査・腹部外科手術前処置用下剤	堀井
ミフロール錠(カルモフル)	100mg/錠	抗悪性腫瘍剤	バイエル
ムスカラム錠(塩酸トルペリゾン)	100mg/錠	抗痙縮剤	日本化薬
メプチンシロップ(プロカテロール塩酸塩水和物)	5μg/mL	気管支拡張剤	大塚

院外採用中止医薬品(つづき)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ルシドリール錠(メクロフェノキサート塩酸塩)	100mg/錠	中枢神経賦活剤	共和
ローガン錠(塩酸アモスラロール)	10mg/錠	血行動態改善型降圧剤	アステラス
アスプールの液(dl-塩酸イソプロテレノール)	[0.5%] 50mL/V	気管支拡張剤	アルフレッサファーマ
アトラント軟膏(ネチコナゾール塩酸塩)	[1%] 10g/本	抗真菌剤	久光
アトラント外用液(ネチコナゾール塩酸塩)	[1%] 10mL/本	抗真菌剤	久光
インターカプセル外用(クロモグリク酸ナトリウム)	20mg/Cp	喘息・アレルギー性鼻炎治療剤	アステラス
オクソラレン軟膏(メトキサレン)	[0.3%] 10g/本	尋常性白斑治療剤	大正富山
スルプロチン軟膏(スプロフェン)	[1%] 10g/本	非ステロイド系抗炎症外用剤	ケミファ
ナポールテープ(ジクロフェナクナトリウム)	15mg/7×10cm/枚	経皮吸収型鎮痛消炎剤	久光
ノフロ点眼液(ノルフロキサシン)	[0.3%] 5mL/本	広範囲抗菌点眼剤	万有
バソレーター軟膏(ニトログリセリン)	[2%] 30g/本	冠動脈拡張剤	三和化学
フトラフル坐剤(テガフル)	750mg/本	代謝拮抗剤	大鵬
ムコゾーム点眼液(塩化リゾチーム)	[0.5%] 5mL/本	消炎酵素点眼剤	参天
ムコファジン点眼液(フラビンアデニンジヌクレオチド、他)	5mL/本	角膜疾患用剤	わかもと
レクトス注腸軟膏(ジクロフェナクナトリウム)	50mg/1g/個	鎮痛・解熱・抗炎症剤	テイコメディックス
ノボリン R 注 100(ヒトインスリン)	1,000 単位/10mL/V	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ヒューマリン 3/7 注 U-100(ヒトインスリン)	1,000 単位/10mL/V	抗糖尿病剤	イーライ・リリー
(生薬製剤)			
ウチダのアセンヤク末 M	ウチダのキササゲ M	ウチダのサンシシ末 M	ウチダのセンブリ末 M
ウチダのアマチャ M	ウチダのキナ M	ウチダのサンショウ末 M	ウチダのチョウジ末 M
ウチダのアマチャ末 M	ウチダのキナ末 M	ウチダのシャゼンソウ M	ウチダのトウガラシ M
ウチダのウワウルシ M	ウチダのクコヨウ M	ウチダのジュウヤク M	ウチダのトウガラシ末 M
ウチダのエイジツ末 M	ウチダのゲンチアナ M	ウチダのシュクシャ末 M	ウチダのトウヒ末 M
ウチダのオウバク末 M	ウチダのゲンノショウコ M	ウチダのショウズク M	ウチダのニガキ末 M
ウチダのオンジ末 M	ウチダのゲンノショウコ末 M	ウチダのセネガ M	ウチダのモッコウ末 M
ウチダのカゴソウ M	ウチダのコウブシ末 M	ウチダのセネガ末 M	ウチダのヨウバイヒ M
ウチダのガジュツ末 M	ウチダのコロンボ M	ウチダのセンナ末 M	ウチダのヨクイニン末 M
ウチダのカノコソウ末 M	ウチダのコロンボ末 M	ウチダのセンブリ M	

○ すべて、平成 20 年 6 月 30 日付で処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名	規格・単位	薬品分類	会社名
ヒューマログ注キット ⇒ ヒューマログ注ミリオペン ¹⁾	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマログ N 注キット ⇒ ヒューマログ N 注ミリオペン ²⁾	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマログミックス 25 注キット ⇒ ヒューマログミックス 25 注ミリオペン ¹⁾	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	イーライ・リリー
ヒューマログミックス 50 注キット ⇒ ヒューマログミックス 50 注ミリオペン ¹⁾	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	イーライ・リリー
ランタス注オプチクリック ⇒ ランタス注ソロスター ¹⁾	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	サノフィ・アベンティス

1) 院内・院外とも、平成 20 年 6 月 24 日より変更します。

2) 院内・院外とも、平成 20 年 7 月 1 日より変更します。

販売中止医薬品 (※:院外専用医薬品)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エストラダム貼付(エストラジオール)※	0.72mg/枚	経皮吸収エストラジオール製剤	キッセイ

○ 平成 20 年 6 月 30 日付で、処方中止とします。

＊シタフロキサシン水和物 Sitafloracin Hydrate

【商】グレースビット Gracevit 第一三共
内用：錠剤 1錠中 50mg [228 円/錠]

【効】咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、子宮頸管炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎

【用】1回 50mg を 1日 2回投与する。効果不十分と思われる症例には、1回 100mg を 1日 2回投与することができる。

【禁】本剤の成分又は他のキノロン系抗菌薬に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、小児等

【副】肝機能障害、ショック★、アナフィラキシー様症状★、Lyell 症候群★、Stevens-Johnson 症候群★、痙攣★、急性腎不全★、黄疸★、間質性肺炎★、偽膜性大腸炎★、横紋筋融解症★、低血糖★、腱障害★、無顆粒球症★、汎血球減少症★、血小板減少★、溶血性貧血★、精神症状★

【妊】未確立、禁忌 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立、禁忌

＊アンブロキシール塩酸塩

Ambroxol Hydrochloride

【商】ムコソルバン L Mucosolvan L 帝人
内用：カプセル剤(徐放性)

1カプセル中 45mg [82.4 円/Cp]

【効】下記疾患の去痰：急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難

【用】1回 45mg を 1日 1回投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、Stevens-Johnson 症候群

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳回避

＊ブロナンセンリン Blonanserlin

【商】ロナセン Lonasen 大日本住友
内用：錠剤(丸) 1錠中 4mg [145 円/錠]

【効】統合失調症

【用】1回 4mg、1日 2回食後投与より開始し、徐々に増量する。維持量として 1日 8～16mg を 2回に分けて食後投与する。1日量は 24mg を超えないこと。

【禁】昏睡状態の患者、バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者、アドレナリン・アゾール系抗真菌剤・HIV プロテアーゼ阻害剤を投与中の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】悪性症候群、遅発性ジスキネジア、麻痺性イレウス★、SIADH★、高血糖★、糖尿病性ケトアシドーシス★、糖尿病性昏睡★

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【商】バラマイシン Baramycin 小野
外用：軟膏剤 1g 中バシトラシン 250 単位、
フラジオマイシン硫酸塩 2mg [7.9 円/g]

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、腋臭症

【用】1日 1～数回直接患部に塗布又は塗擦するか、あるいは無菌ガーゼ等にのばして貼付する。

【禁】ストレプトマイシン・カナマイシン・ゲンタマイシン・フラジオマイシン等のアミノ糖系抗生物質及びバシトラシンに対し過敏症の既往歴のある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】腎障害、難聴、ショック、アナフィラキシー様症状

【妊】未確立、有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊タカルシトール水和物 Tacalcitol Hydrate

【商】ボンアルファハイ Bonalfa High 帝人
外用：ローション剤(丸)
0.002% (10g) [274.4 円/g]

【効】尋常性乾癬(ただし、他の外用療法で十分な効果が認められない皮疹、あるいは難治性の皮疹)

【用】1日 1回適量を患部に塗布する。

【禁】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【副】高カルシウム血症

【妊】未確立、大量・長期・広範囲使用回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*イオベルソール Ioversol

【商】オプチレイ Optiray タイコ

注射：液剤

320(CT・尿路用)：1シリンジ(100mL)中

ヨードとして 32g [12,741 円/筒]

【効】①コンピューター断層撮影における造影
②静脈性尿路撮影 ③脳血管撮影 ④大動脈撮影
⑤選択的血管撮影 ⑥四肢血管撮影 ⑦デ
ィジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影
⑧ディジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影

【用】1 回下記量を使用する。①50～100mL
②40～100mL ③5～15mL ④30～50mL ⑤5～
60mL ⑥10～50mL ⑦3～50mL ⑧30～60mL

【警】◆ショック等の重篤な副作用があらわれ
ることがある。◆本剤を脳・脊髄腔内に投与す
ると重篤な副作用が発現するおそれがあるの
で、脳槽・脊髄造影には使用しないこと。

【禁】ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往
歴のある患者、重篤な甲状腺疾患のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、心
室細動、冠動脈攣縮、腎不全、肺水腫、失神、
痙攣発作、麻痺、肝機能障害、黄疸、血小板減
少、脳血管障害、Stevens-Johnson 症候群

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*ラニムスチン Ranimustine

【商】サイメリン Cymerin 田辺三菱

注射：⑧ 1 瓶中 50mg [13,999 円/瓶]

【効】膠芽腫、骨髄腫、悪性リンパ腫、慢性骨
髄性白血病、真性多血症、本態性血小板増多症

【用】生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液 100～
250mL に溶解し、30～90 分で点滴静注するか、
又は 10～20mL に溶解し、ゆっくり(30～60 秒)
静注する。1 回投与量は $50\sim90\text{mg/m}^2$ とし、次回
の投与は血液所見の推移にしたがって 6～8 週後
に行う。

【副】骨髄抑制、間質性肺炎

【妊】回避 【授】授乳中止

【小】慎重

【貯】遮光、10℃以下

*生理食塩液 Isotonic Sodium Chloride Solution

【商】生理食塩液 光

注射：液剤 1 瓶(50mL)中塩化ナトリウム 0.45g
[97 円/瓶]

【効】細胞外液欠乏時、血清ナトリウム・クロ
ル欠乏時、注射剤の溶解希釈剤

【用】20～1,000mL を皮下・静注又は点滴静注す
る。適量を取り注射用医薬品の希釈、溶解に用
いる。

*ペルフルブタン Perflubutane

【商】ソナゾイド Sonazoid 第一三共

注射：1 瓶中ペルフルブタンマイクロバブル含量
16μL [13,001 円/瓶]

【効】超音波検査における肝腫瘍性病変の造影

【用】16μL を添付の注射用水 2mL で懸濁し、
1 回懸濁液として 0.015mL/kg を静注する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある
患者

【副】心筋虚血・心筋梗塞を伴う徐脈・低血圧

【妊】未確立、有益のみ

【授】未確立、回避、投与する場合は授乳回避

【小】未確立

*ダルベポエチンアルファ Darbepoetin Alfa

【商】ネスプ Nesp キリンファーマ

注射：液剤⑧ 1シリンジ(1mL)中 20μg
[5,641 円/筒]

【効】透析施行中の腎性貧血

【用】本剤は、エリスロポエチン(エポエチンア
ルファ、エポエチンベータ)製剤から切り替えて
使用する。週 1 回 15～60μg を静注する。週 1 回
投与で貧血改善が維持されている場合には、そ
の時点での 1 回の投与量の 2 倍量を開始用量と
して、2 週に 1 回投与に変更することができる。
その場合には、2 週に 1 回 30～120μg を静注する。
腹膜透析患者で 2 週に 1 回投与で貧血改善が維
持されている場合には、その時点での 1 回の投
与量の 2 倍量を開始用量として、4 週に 1 回投与
に変更することができる。その場合には、4 週に

1 回 60～180 μ g を静注する。最高投与量は、1 回 180 μ g とする。貧血改善効果の目標値は、ヘモグロビン濃度で 11g/dL (ヘマトクリット値で 33%) 前後とする。

【禁】本剤の成分又はエリスロポエチン製剤に過敏症の患者

【副】脳梗塞、脳出血、肝機能障害、黄疸、高血圧性脳症、ショック、アナフィラキシー様症状、赤芽球癆、心筋梗塞、肺梗塞

【妊】未確立、原則禁忌、投与する場合は有益のみ

【授】未確立、原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光、2～8℃

*インスリンリスプロ Insulin Lispro

【商】ヒューマログ N<ミリオペン> Humalog N
イーライリリー

注射：懸濁剤^㉑ 1 キット (3mL) 中 300 単位

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】初期は 1 回 4～20 単位を朝食直前に皮下注する。ときに投与回数を増やしたり、他のインスリン製剤を併用する。維持量は 1 日 4～80 単位である。

【禁】低血糖症状を呈している患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫

【妊】未確立、注意 【授】注意

【小】未確立

【貯】遮光、2～8℃

*エピルビシン塩酸塩 Epirubicin Hydrochloride

【商】ファルモルビシン Farmorubicin 協和醗酵
注射：^㉑ 1 瓶中 50mg [27,700 円/瓶]

【効】①急性白血病 ②悪性リンパ腫 ③肝癌
④乳癌、卵巣癌、胃癌、尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍) ⑤膀胱癌(表在性膀胱癌に限る)
⑥乳癌(手術可能例における術前あるいは術後化学療法)

【用】①15mg/m² を約 20mL の注射用水に溶解し、1 日 1 回 5～7 日間連日静注し 3 週間休薬する。これを 1 クールとし、必要に応じて 2～3 クール反復する。②40～60mg/m² を約 20mL の注射用水

に溶解し、1 日 1 回静注し 3～4 週間休薬する。これを 1 クールとし、3～4 クール反復する。

③60mg/m² を約 20mL の注射用水に溶解し、肝動脈内に挿入されたカテーテルより、1 日 1 回肝動注し 3～4 週間休薬する。これを 1 クールとし、3～4 クール反復する。④60mg/m² を約 20mL の注射用水に溶解し、1 日 1 回静注し 3～4 週間休薬する。これを 1 クールとし、3～4 クール反復する。⑤60mg を 30mL の生理食塩液に溶解し、1 日 1 回 3 日間連日膀胱腔内に注入し 4 日間休薬する。これを 1 クールとし、2～4 クール反復する。注入に際しては、ネラトンカテーテルで導尿し十分に膀胱腔内を空にした後、同カテーテルより注入し、1～2 時間膀胱腔内に把持する。

⑥《シクロホスファミドとの併用》100mg/m² を約 20mL の注射用水に溶解し、1 日 1 回静注後、20 日間休薬する。これを 1 クールとし、4～6 クール反復する。《シクロホスファミド・フルオロウラシルとの併用》100mg/m² を約 20mL の注射用水に溶解し、1 日 1 回静注後、20 日間休薬する。これを 1 クールとし、4～6 クール反復する。

【警】本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。

【禁】心機能異常又はその既往歴のある患者、本剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者、他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療が限界量(ドキソルビシン塩酸塩では総投与量が 500mg/m²、ダウノルビシン塩酸塩では総投与量が 25mg/kg 等)に達している患者

【副】心筋障害、うっ血性心不全、骨髄抑制、ショック、間質性肺炎、萎縮膀胱(膀胱腔内注入)、肝・胆道障害(肝動脈内投与)、胃潰瘍、十二指腸潰瘍(肝動脈内投与)

【妊】原則禁忌 【授】授乳中止

【小】未確立

インスリン製剤の切替について

インスリンアナログ製剤である「**ヒューマログ注**」「**ヒューマログ N 注**」「**ヒューマログミックス 25 注・50 注**」ですが、従来のキット製品が変更となります。名称がそれぞれ「**…注ミリオペン**」になるとともに、注射器の外形および操作方法が変更になりますのでご注意ください。

また、持効型溶解インスリンアナログ製剤である「**ランタス注オプチック**」につきましても、「**ランタス注ソロスター**」に変更となります。従来まではカートリッジ製品でしたが、新製剤はペン型注入器が不要なキット製品となりますので、操作方法等が変更になります。ご注意願います。

新製剤への変更は、「**ヒューマログ注ミリオペン**」「**ヒューマログミックス 25 注・50 注ミリオペン**」「**ランタス注ソロスター**」については 6 月 24 日(火)より、「**ヒューマログ N 注ミリオペン**」については 7 月 1 日(火)より、すべて院内・院外同時に変更します。詳細につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）までご連絡下さい。

旧製剤	新製剤
ヒューマログ注キット 	ヒューマログ注ミリオペン 1) 
ヒューマログ N 注キット 	ヒューマログ N 注ミリオペン 2) 
ヒューマログミックス 25 注キット 	ヒューマログミックス 25 注ミリオペン 1) 
ヒューマログミックス 50 注キット 	ヒューマログミックス 50 注ミリオペン 1) 
ランタス注オプチック 	ランタス注ソロスター 1) 

※新製剤への変更日：1) 6 月 24 日(火)、2) 7 月 1 日(火)